

Client Alert

30 March 2020

米国に引き渡された自動車部品会社の元幹部が 反トラストの罪について有罪答弁

本アラートに
関するお問い合わせ先



井上 朗
パートナー
03 6271 9463
akira.inoue@bakermckenzie.com



佐藤 哲朗
カウンセラー
03 6271 9740
tetsuro.sato@bakermckenzie.com



岡村 優
シニア・アソシエイト
03 6271 9746
yu.okamura@bakermckenzie.com

米国司法省の発表によれば、Continental Automotive Korea Ltd.の元主要顧客マネージャーで韓国籍の Eun Soo Kim 氏が、ドイツから米国に引き渡され、米国の裁判所で**有罪答弁**を行った。Kim 氏への嫌疑は、複数の自動車メーカー向けのインストルメント・パネル（運転席の計器）に関する国際的な市場分割及び入札談合である。

Kim 氏の引き渡しは、反トラストの罪のみに基づくものとしては3件目であり、ここ2ヶ月では2件目である。Kim 氏は、5年近くの逃亡の後、2019年9月28日にドイツ当局によって逮捕された。Kim 氏は、最終的に米国への引き渡しに同意し、2020年2月28日にアトランタに到着し、2020年3月2日にジョージア北部地区連邦地方裁判所に出廷して、**有罪答弁**を行った。裁判官は、Kim 氏が引き渡しのため未決拘留されていた期間を考慮し、同氏に9か月間の禁錮刑および、13万ドルの罰金を科した。

Kim 氏は、韓国の自動車メーカー並びにそれらの米国及びその他の地域の子会社に販売されたインストルメント・パネルに関する売上の配分、入札談合、談合された非競争的な入札価格の提示の共謀について**有罪答弁**を行った。同氏は、早くとも2008年2月から遅くとも2012年5月まで共謀に参加していた。

自動車部品産業では、Kim 氏を含めて、100社以上の企業及び幹部が米国司法省の調査において訴追されており、29億ドルを超える罰金が科されるとともに、32名の個人が罰金の支払い及び1年1日から2年の間の禁錮を科されている。